

【シャノン活用事例】

約 15,000 名を自社イベントで集客する

ウイングアーク1stがシャノンを10年以上使い続ける理由とは

株式会社シャノン（本社：東京都港区、代表取締役社長：中村 健一郎、証券コード：3976 以下、シャノン）は、ウイングアーク1st株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO 田中 潤 以下、ウイングアーク1st）における、マーケティング支援システム「SHANON MARKETING PLATFORM（以下、SMP）」の活用事例を発表いたします。



企業のデータ活用を支えるソフトウェアとサービスを提供するウイングアーク1st。帳票・文書管理事業では、帳票基盤ソリューション「SVF」や電子帳票プラットフォーム「invoiceAgent」を展開。データエンパワーメント事業では、データ分析基盤「Dr.Sum」、BI ダッシュボード「MotionBoard」などのサービスを提供し、さらにコミュニケーションプラットフォーム「dejiren」なども提供しています。

ウイングアーク1stでは、2023年10月31日から11月2日に年次イベント「updateNOW23」を開催し、全国から約15,000名を集客とデータ活用をテーマにした国内最大規模のイベントとなりました。このイベントのプラットフォームとしてSMPが10年以上採用されており、来場者管理などこれまで様々な課題解決に貢献してきました。

■SMPの活用方法

- ・導入の決め手はセミナー集客のメール配信と申込フォームページ更新作業の負担軽減
- ・QRコードスキャンによる来場者管理で集客状況をリアルタイムで把握
- ・データの可視化と分析により参加者、協賛者、登壇者の全員の満足度を高めイベントのユーザー体験を向上

■事例インタビュー

約15,000名を自社イベントで集客する

ウイングアーク1stがシャノンに10年以上使い続ける理由とは

<https://www.shanon.co.jp/case/software/wingarc/>

■株式会社シャノンについて

シャノンは、クラウドテクノロジーをコアに、企業のマーケティング課題を解決する製品・ソリューション・サービスを提供しています。

デジタルとアナログを組み合わせるデジアナマーケティングなどを実現し、イベント、セミナー、マーケティングオートメーション、CMS、アドテクノロジー、メタバースまで提供するシャノンのマーケティングクラウドは、金融、IT・通信、製造業から公共機関まで業種を問わず、大規模から中規模まで多様なシーンでご利用いただいています。

社名商号	株式会社シャノン（英文：SHANON Inc.）
証券コード	3976（東証グロース）
代表者	代表取締役社長 中村 健一郎（なかむら けんいちろう）
所在地	東京都港区三田 3-13-16 三田 43MT ビル 4階
事業内容	クラウド型マーケティングソリューションの企画・開発・販売・サポート マーケティングにかかわるコンサルティングおよびサービスの提供
URL	https://www.shanon.co.jp/

■本ニュースリリースに関するお問い合わせ先

株式会社シャノン マーケティング部

TEL : 03-6743-1565

E-mail : marketing@shanon.co.jp